

平成30年度

天草市各財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

天草市監査委員

目 次

ページ

平成30年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書	4
平成30年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書	7

天監第64号
令和元年8月13日

天草市一町田財産区管理者
天草市長 中村 五木 様

天草市監査委員 富田 善三郎

天草市監査委員 福岡 耕二

天草市監査委員 赤木 武男

平成30年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算書及び同附属書類を審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

平成30年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

平成30年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算
 平成30年度天草市一町田財産区特別会計実質収支に関する調書
 平成30年度天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
 平成30年度財産に関する調書

2 審査の期間

令和元年7月8日から令和元年8月13日

3 審査の方法

審査にあたっては、天草市一町田財産区管理者(天草市長)から提出された、天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等を行い、審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された天草市一町田財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

5 歳入歳出決算の概要

(1) 決算収支

(単位：円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
平成30年度	9,903,054	83,740	9,819,314	0	9,819,314
平成29年度	8,718,825	45,000	8,673,825	0	8,673,825
比較	1,184,229	38,740	1,145,489	0	1,145,489

平成30年度の歳入歳出差引額は9,819,314円で、翌年度へ繰越すべき財源はなく、実質収支額は9,819,314円である。

(2) 歳入

(単位：円・%)

区分	平成30年度						平成29年度	対前年度	
	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収納率	収入未済額	収入済額	増減額	増減率
財産収入	65,000	1,117,765	1,117,765	11.3	100.0	0	742,352	375,413	50.6
繰越金	8,629,000	8,673,825	8,673,825	87.6	100.0	0	7,918,489	755,336	9.5
諸収入	2,000	111,464	111,464	1.1	100.0	0	57,984	53,480	92.2
歳入合計	8,696,000	9,903,054	9,903,054	100.0	100.0	0	8,718,825	1,184,229	13.6

※収納率は「収入済額÷調定額」の値

収入済額は9,903,054円で、調定額に対する収納率は100%となっている。

財産収入の増は、不動産売払収入の立木売払収入(間伐材)が増加したことによるものであり、諸収入の増は、雑入(事業分量配当金(間伐事業))が増加したことによるものである。

(3) 歳出

(単位：円・%)

区分	平成30年度					平成29年度	対前年度	
	予算現額	支出済額	構成比	執行率	不用額	支出済額	増減額	増減率
総務費	1,252,000	83,740	100.0	6.7	1,168,260	45,000	38,740	86.1
予備費	7,444,000	0	-	-	7,444,000	0	0	-
歳出合計	8,696,000	83,740	100.0	1.0	8,612,260	45,000	38,740	86.1

※執行率は「支出済額÷予算現額」の値

支出済額は83,740円で、予算現額に対する執行率は1.0%となっている。

総務費の増は、財産区管理費の報酬及び旅費が増加したことによるものである。

6 財産について

公有財産に関する決算年度中における増減高及び決算年度末残高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

①土地及び建物

区分	土地(地積) (㎡)			建物 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山林	9,084,027	0	9,084,027	0	0	0
畑	272,282	0	272,282	0	0	0
公衆用道路	10,601	0	10,601	0	0	0
雑種地	12,249	0	12,249	0	0	0
宅地	1,913	0	1,913	0	0	0
合計	9,381,072	0	9,381,072	0	0	0

②山林

区分	面積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所有	9,084,027	0	9,084,027	85,418	1,944	87,362

立木の推定蓄積量の増は、立木の生長による自然増と間伐による減によるものである。

天監第66号
令和元年8月13日

天草市新合財産区管理者
天草市長 中村 五木 様

天草市監査委員 富田 善三郎

天草市監査委員 福岡 耕二

天草市監査委員 赤木 武男

平成30年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成30年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算書及び同附属書類を審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

平成30年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

平成30年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算
 平成30年度天草市新合財産区特別会計実質収支に関する調書
 平成30年度天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算事項別明細書
 平成30年度財産に関する調書

2 審査の期間

令和元年7月8日から令和元年8月13日

3 審査の方法

審査にあたっては、天草市新合財産区管理者(天草市長)から提出された、天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成されているか、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等を行い、審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された天草市新合財産区特別会計歳入歳出決算書、同実質収支に関する調書、同歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

5 歳入歳出決算の概要

(1) 決算収支

(単位：円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
平成30年度	1,450,952	36,780	1,414,172	0	1,414,172
平成29年度	1,475,445	24,520	1,450,925	0	1,450,925
比較	△ 24,493	12,260	△ 36,753	0	△ 36,753

平成30年度の歳入歳出差引額は1,414,172円で、翌年度へ繰越すべき財源はなく、実質収支額は1,414,172円である。

(2) 歳入

(単位：円・%)

区分	平成30年度						平成29年度	対前年度	
	予算現額	調定額	収入済額	構成比	収納率	収入未済額	収入済額	増減額	増減率
財産収入	2,000	0	0	-	-	0	0	0	-
繰越金	1,426,000	1,450,925	1,450,925	100.0	100.0	0	1,475,373	△ 24,448	△ 1.7
諸収入	2,000	27	27	0.0	100.0	0	72	△ 45	△ 62.5
歳入合計	1,430,000	1,450,952	1,450,952	100.0	100.0	0	1,475,445	△ 24,493	△ 1.7

※収納率は「収入済額÷調定額」の値

収入済額は1,450,952円で、調定額に対する収納率は100%となっている。

(3) 歳出

(単位：円・%)

区分	平成30年度					平成29年度	対前年度	
	予算現額	支出済額	構成比	執行率	不用額	支出済額	増減額	増減率
総務費	279,000	36,780	100.0	13.2	242,220	24,520	12,260	50.0
予備費	1,151,000	0	-	-	1,151,000	0	0	-
歳出合計	1,430,000	36,780	100.0	2.6	1,393,220	24,520	12,260	50.0

※執行率は「支出済額÷予算現額」の値

支出済額は36,780円で、予算現額に対する執行率は2.6%となっている。

総務費の増は、財産区管理費の報酬及び旅費が増加したことによるものである。

6 財産について

公有財産に関する決算年度中における増減高及び決算年度末残高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

①土地及び建物

区分	土地(地積) (㎡)			建物 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山林	382,909	0	382,909	0	0	0

②山林

区分	面積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎡)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
所有	382,909	0	382,909	10,247	14	10,261

立木の推定蓄積量の増は、立木の生長による自然増加分である。